

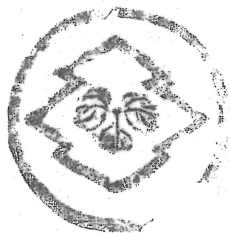
雲仙市文化財調査報告書 第10集

nabeshimajinyaato

鍋島陣屋跡

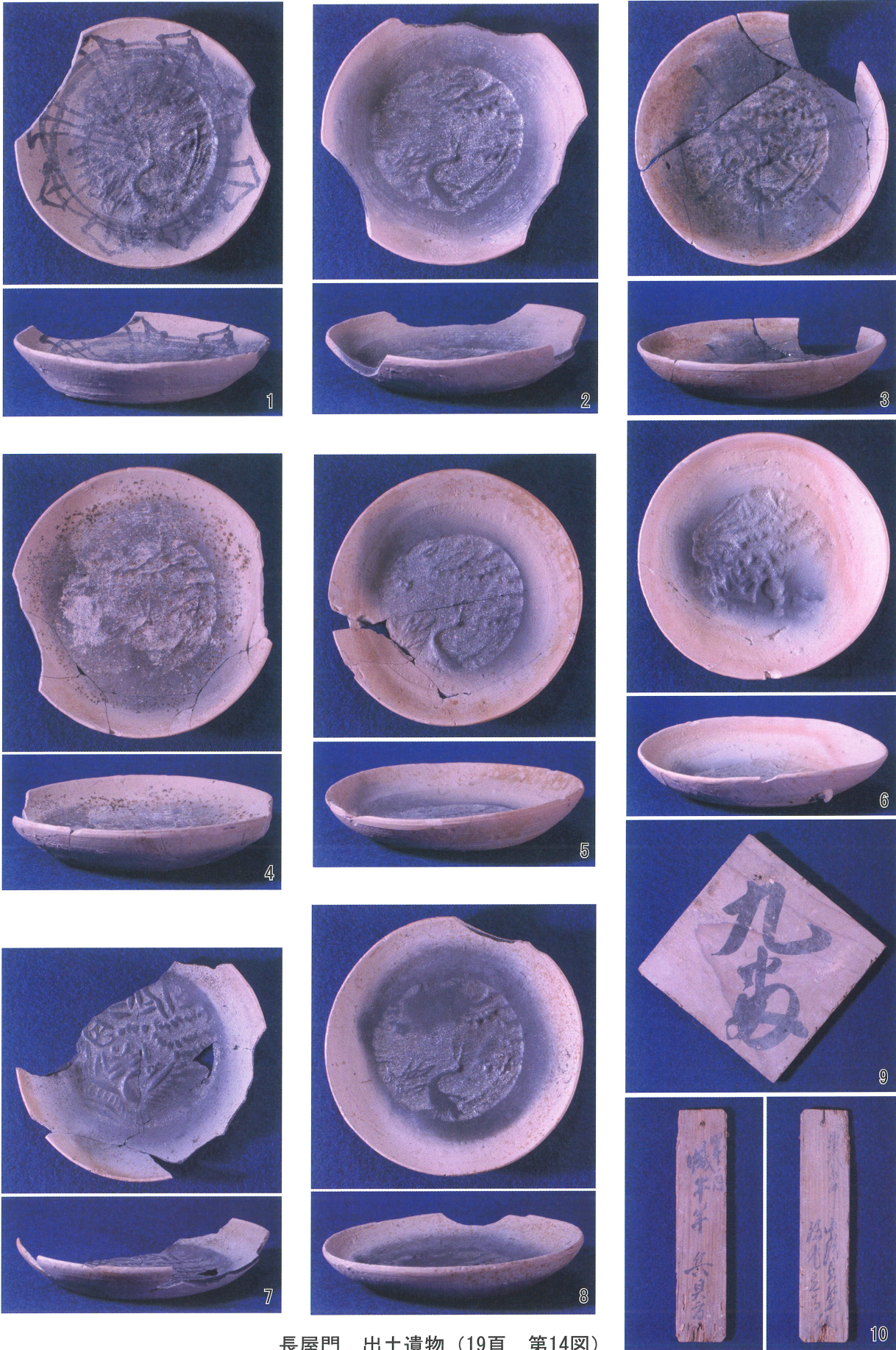
—重要文化財「旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟」

保存修理工事に伴う発掘調査報告—



2012

長崎県雲仙市教育委員会

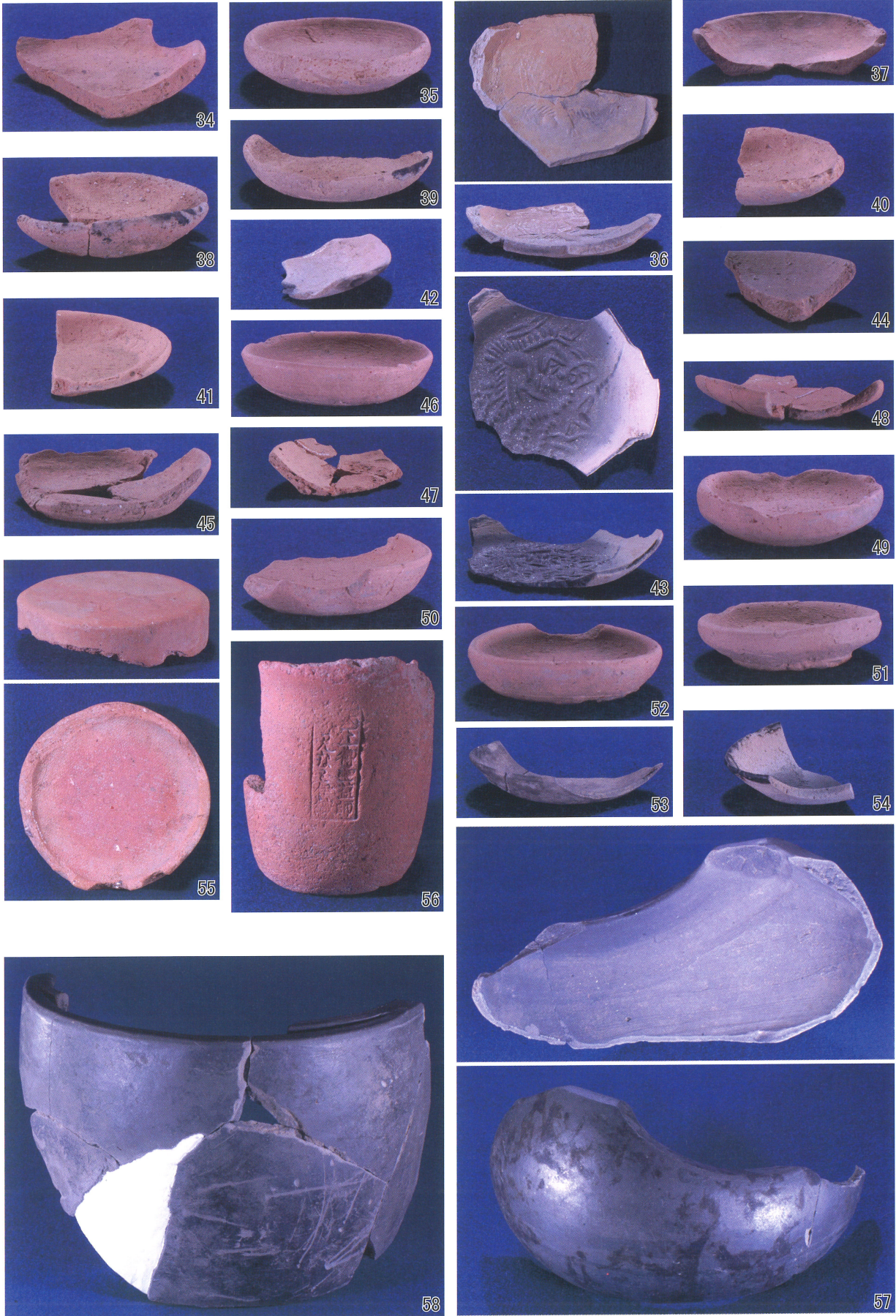


長屋門 出土遺物 (19頁 第14図)

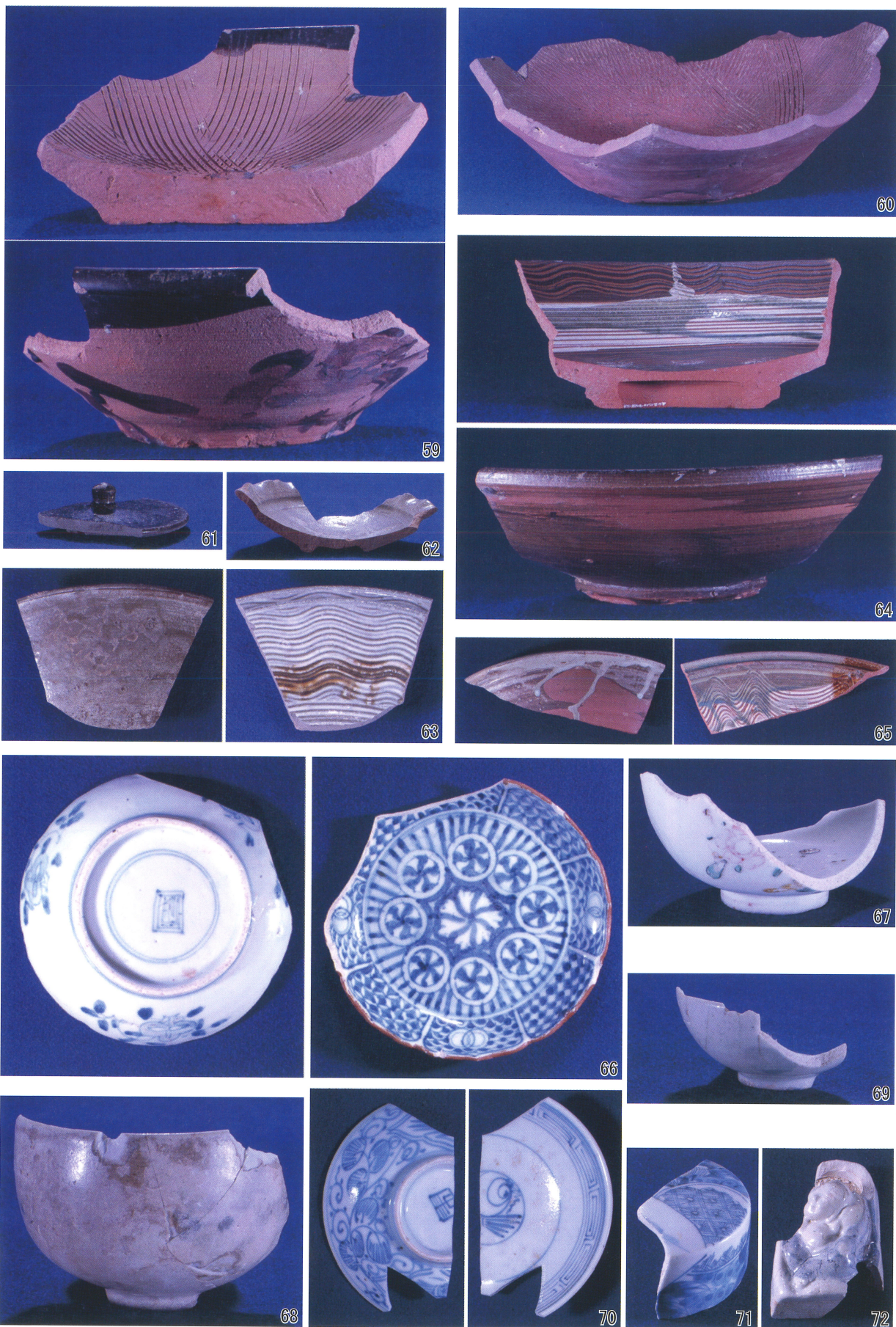
図版16



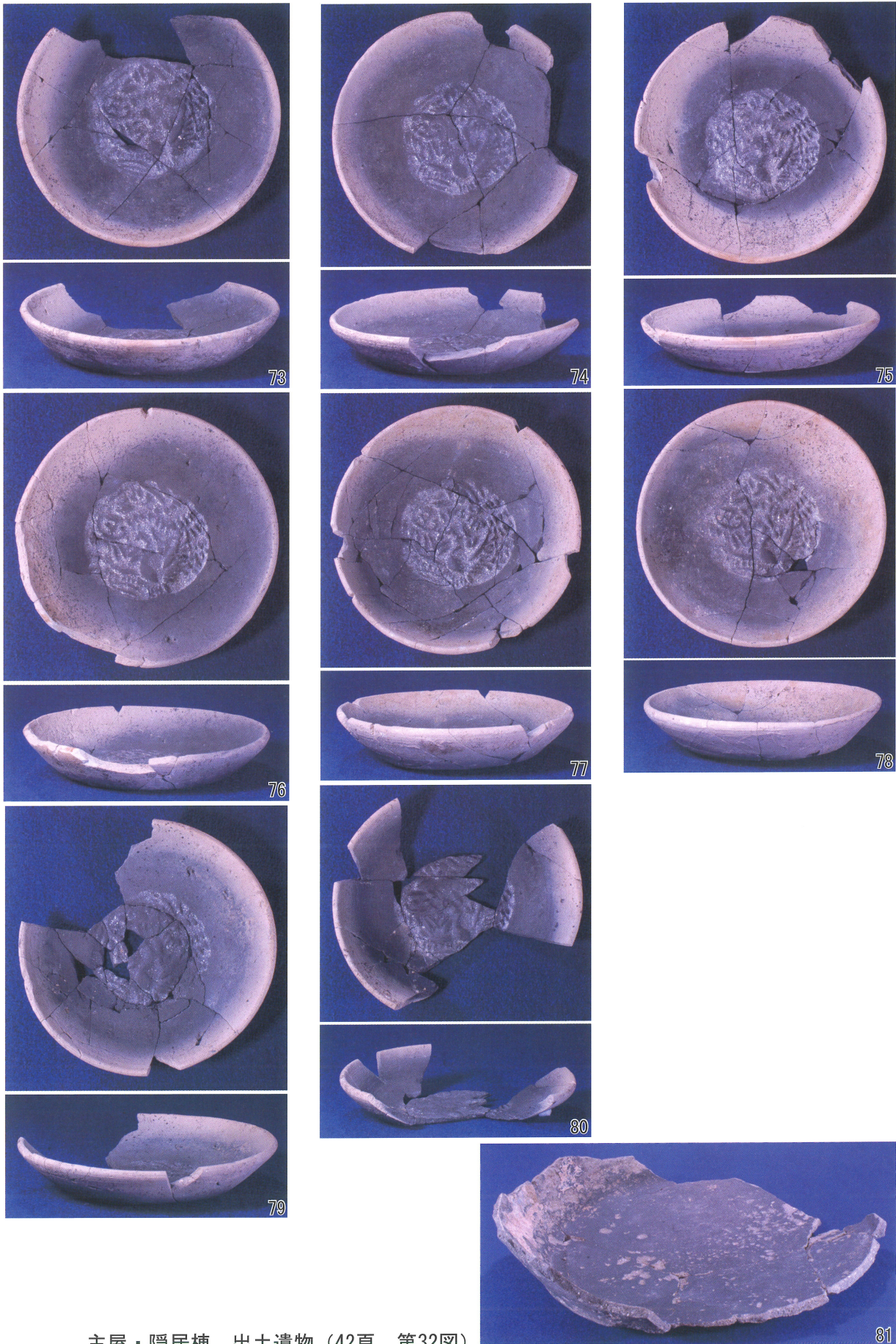
長屋門 出土遺物 (20頁 第15図)



長屋門 出土遺物 (21頁 第16図)



長屋門 出土遺物 (22頁 第17図)



主屋・隠居棟 出土遺物 (42頁 第32図)



主屋・隠居棟 出土遺物 (43頁 第33図)



主屋・隠居棟 出土遺物 (44頁 第34図)

图版22



主屋・隠居棟 出土遺物 (45頁 第35図)



TP-1、TP-2 右側が鶴亀城(神代城)跡



TP-1 北側壁面土層



TP-2 北側壁面土層 巨礫の検出



TP-3 表土除去



TP-3 調査風景 後ろは22年度調査の長屋門



TP-3 SK-1 検出状況



TP-3 SK-1 検出状況



TP-3 SK-1 内部瓦礫検出状況

図版24



TP-3 SK-1 半掘状況



TP-3 SK-1 完掘状況



TP-3 SK-2 検出状況



TP-3 石列（通路跡）検出状況



TP-3 石列（通路跡）検出状況



TP-3 掘立柱建物検出状況



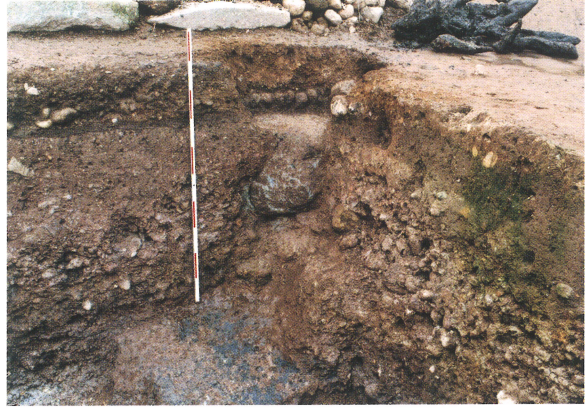
TP-3 掘立柱建物 柱穴検出状況



TP-3 掘立柱建物 柱穴半掘状況



TP-3 南側土層堆積状況



TP-3 南側土層 第4層中巨礫検出状況



TP-3 第7層 流木検出状況



TP-3 SK-1 検出遺物



TP-3 SK-1 検出遺物 (内面)



TP-3 SK-1 検出遺物 (外面)



TP-3 SK-1 出土遺物



TP-3 SK-1 出土遺物 断面四角形の鉄釘

報告書抄録

ふりがな	なべしまじんやあと		
書名	鍋島陣屋跡		
副書名			
巻次			
シリーズ名	雲仙市文化財調査報告書		
シリーズ番号	第10集		
編著者名	辻田 直人 竹田 将仁		
編集機関	雲仙市教育委員会		
所在地	〒 854-0492 長崎県雲仙市千々石町戊582番地		Tel 0957-37-3113 Fax 0957-37-3112
発行年月日	西暦： 2012年3月28日		

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯		東経		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	° / ′ ″	° / ′ ″					
なべしまじんやあと 鍋島陣屋跡	ながさきけんうんぜんし 長崎県雲仙市 くにみちよう 国見町 こうじろくうじ 神代小路	42213	86-4	32 °	130 °	2010/12/22	400 m ²	重要文化財 保存修理工事		
				52 ′	16 ′	2011/3/31				
				12 ″	3 ″	2011/5/20				
						2011/9/30				

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
鍋島陣屋跡	屋敷跡	近世	建物基礎 石列 土坑	江戸期 陶磁器 明治～昭和 陶磁器・ ガラス製品	

要 約	<p>鍋島陣屋跡は、雲仙市国見町神代に所在し、国指定の重要伝統的建造物群保存地区内に位置する。屋敷地は鶴亀城跡(神代城跡)を背にし、屋敷地東側には武家町が広がる。屋敷地内には、近代和風建築が建ち並び、平成19(2007)年に国の重要文化財に指定されている。その建物群の中の長屋門、主屋(家政部)、隠居棟(主要部・浴室部)が老朽化のため全解体修理もしくは、一部解体修理となった。建物の解体後、基礎にコンクリート製の基礎を埋設する。地下の埋蔵文化財に影響を与える可能性があることから、発掘調査を行うこととなった。平成22年度に長屋門の発掘調査を実施し、基礎石撤去前の第一面からは、現長屋門に伴う遺構として、地鎮に関わるものと考えられる土師器が2枚組みで礎石脇4箇所から出土したほか、廃棄土坑と考えられる土坑などを検出した。また、基礎石撤去後の第二面からは、2時期～3時期古い遺構と考えられる帯状石列遺構や、石積み状遺構、路面跡と考えられる硬化面などを検出し、現長屋門以前になんらかの建物が建っていた可能性が考えられた。</p> <p>平成23年度には、主屋(家政部)、隠居棟(主要部・浴室部)の発掘調査を実施した。この報告書においては、便宜上、平面実測図を4面に分け報告を行った。基礎石撤去前の第一面の主屋からは、石列遺構などが出土した。隠居棟主要部からは現建物の地鎮遺構と思われる土師器が基礎石脇4箇所から出土した。基礎撤去後の第二面において、主屋からは、隣接する井戸に関わる遺構と思われる洗い場の遺構や土坑群などを検出した。隠居棟主要部からは、現建物の基礎栗石地業や、関連の遺構と考えられる土坑、雨落ち遺構を検出した。これらの遺構から、建物解体の際の調査において、指摘されていた浴室部増築前に主要部に下屋が張り出していたという可能性を証明する結果となった。隠居棟において、現建物の関連遺構の実測等を終了後、さらに掘り下げを行い検出した第三面において、建物の基礎跡と考えられる複数の土坑を検出した。現主要部建物の栗石地業と類似した点を指摘できる遺構もあり栗石地業跡の可能性が考えられる。これらの土坑検出面の土層からは、18世紀後半頃の遺物が出土している。これらの遺構の実測や写真撮影後、隠居棟主要部21区・22区の掘り下げを実施した。第四面からは、土坑と溝状の遺構を検出した。土層から土坑が溝状遺構より新しい可能性が考えられた。以上の検出した遺構を整理すると、主屋・隠居棟の調査区においては、6時期の造成が行われていることが想定できた。また、長屋門の調査結果を踏まえると、鍋島陣屋跡は小路に居を構えたとする第4代鍋島嵩就の時代に、現状に近い景観に整備されたのではなく第8代鍋島茂興から第16代鍋島桂次郎時代にかけて行われた造成の結果、ほぼ現状に近い景観が完成したことが考えられた。(竹田)</p>
-----	---

Abstract

Book title	The Remains of the Nabeshima Residence							
Subtitle								
Volume name	Report of an investigation Unzen-City cultural properties							
Volume	Vol 10							
Editors	Naoto Tsujita Masahito Takeda							
Editorial organization	Unzen-City Board of Education, Nagasaki-Prepecture, Japan							
Address	Bo-582, Chijiwa-cho, Unzen-City, Nagasaki-Prepecture, 854-0492, Japan						Tel 0957-37-3113 Fax0957-37-3112	
Date of issue	28-Mar-12							
Site name	Location	City code	Site nambaer	North latitude ° / ' / "	East longitu ° / ' / "	Investigated term	Investigated area (m ²)	Investigatied cause
The Remains of the Nabeshima Residence	Kojiro, Kunimi-cho Unzen-City, Nagasaki-Prefecutere, Japan	42213	86-4	32 ° 52 ' 12 "	130 ° 16 ' 3 "	22-Dec-10 } 31-Mar-11 20-Mey-11 } 30-Sep-11	400m ²	Preservation repair of an important cultural property the Nabeshima residence
Site kind	Period	Main features			Main artifacts		Remarks	
the ruins of a castle	the Edo period	Base of wood building Stone wall Large pit			the Edo period Porcelain Earthenware the Meiji period from the Showa period Porcelain Earthenware Glassware			

雲仙市文化財調査報告書 第10集

鍋島陣屋跡

2012

発行 雲仙市教育委員会
長崎県雲仙市千々石町戊582番地
TEL0957-37-3113

印刷 後藤印刷
雲仙市国見町神代戊74-4
TEL0957-78-3602